

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

2017年 年頭の挨拶



新年明けましておめでとうございます。

年初の「あわみなと通信」発行にあたり、一言御挨拶申し上げます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より当事務所の運営にご理解・ご協力賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、4月14日から16日にかけて熊本地震が発生しました。また、8月下旬ごろから9月にかけての台風シーズンには、台風10号が観測史上初となる、Uターンをして東北地方から上陸するといったコースをとり、日本列島各地で多数の犠牲者・甚大な被害が出ました。四国地方整備局からもTEC-FORCEを出動させ、支援活動に参加いたしました。つくづく、我が国は災害大国であることを実感させられた年となりました。

今後発生が危惧されている南海トラフを震源とする地震についても、熊本地震発生以降、南海トラフの西端に位置する日向灘沖から徐々に東に向かってプレート上にひずみが広がっていっていることが観測されつつあります。

そのような中、当事務所の運営において、三つの重点課題に取り組んでおります。一つ目の課題は、上述いたしました南海トラフ地震を初めとする災害から国民の安心・安全を確保する防災対策であります。撫養港海岸（鳴門市）では、平成18年度より進めて参りました既設堤防の改良事業が、本年全区間完成に向けラストスパートに入ったところです。二つ目の課題は、今後急速に増加していく設計寿命を向かえるインフラ施設をどうして行くかという課題です。徳島小松島港の主要港湾施設は昭和40年代に整備されたものが多くあり、施設の老朽化が目立つようになっております。平成28年度より、特に老朽化が顕著であった金磯ふ頭において、リニューアル工事に着手したところであります。三つ目の課題は、地域振興です。これまで長年にわたり行ってきました、様々なイベントでのみなと見学会では大勢の方々に乗船して頂き、楽しんでいただきました。今後もこのような活動を継続して実施し、地元のにぎわい創出に携わる事ができたらと考えております。

最後に、本年も当事務所の運営にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新年が関係機関の皆様やみなと通信の会員の皆様にとって輝ける良き年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

小松島港湾・空港整備事務所長 佐野 正佳

INDEX▶

- 年頭の挨拶・・・ 1
- みなとインフォメーション
港湾業務艇「ひのみね」みなと見学会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- なるほどみなと講座
老朽化した栈橋式岸壁のリニューアル工事の開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- みなと通信
徳島小松島港沖洲(外)地区にクルーズ船が初入港、みなとオアシス防災訓練の開催・・・・・・ 4